

植物病院の事業化に向けた 病害虫雑草診断技術の開発

代表機関：(株)農研植物病院

共同研究機関：農研機構 植物防疫研究部門

実施年度：2021年度～2025年度（フェーズ0、1、2）

研究代表者：上山健治



今、世界の可能作物生産額(約165兆円)の42%(約70兆円)が病害虫・雑草により損失しています。また、失われる70兆円の半分を防除することで世界の飢餓人口6億9000万人を救うことができるといわれています。私たちは、これまでの長年に亘る植物防疫に関する研究の成果を基に、農業を強くするという大志を実現しようと考えています。

背景・目的

病害虫・雑草による損失を最小限に

世界の作物生産は毎年病害虫・雑草により脅かされています。また、その損失の半分を防ぐことで、世界の飢餓に直面する人々を救うことができます。そこで、病害虫・雑草による損失を最小限に抑えることがわれわれの目的です。そのための診断・防除技術の開発と普及を進めます。また、病害虫・雑草の発生予防を目的としたコンサルティングや教育により、知識の拡散、意識の醸成を図ります。

目標

農業を強くする

私たちは、これまでの長年に亘る植物防疫に関する研究の成果を基に、農業を強くするという大志を実現しようと考えています。それは同時に、これから生きる子供たちの未来に向かって、さまざまな困難に真摯に向き合い、社会全体で支えあいながら実現した喜びをともに感じる社会の実現でもあります。そのため、農業を愛し、農業とともに生きる皆様に応援していきます。

研究内容

植物病院の事業化に向けた病害虫雑草診断技術の開発

- 1 輸出入検疫病害虫・雑草の検査
 - ・送付されたサンプルの遺伝子検査などによる無病証明
 - ・現地農園調査による無病証明
 - ・海外の調査官の受け入れによる無病証明
- 2 IPM（総合的病害虫・雑草管理）の普及拡大
 - ・WAGRI総合的病害虫対策支援サービスの提供・販売とリモート・コンサルティングサービス提供
- 3 一次予防を重視した病害虫・雑草防除の総合コンサル
 - ・地域JAや民間サービス提供者の営農指導員、営農者・市民農園者への情報提供
 - ・大規模農業法人および企業直営農場へのコンサルティング
 - ・土壌の健康診断、抵抗性品種の選定、圃場衛生、ブランディングなど病害虫マネジメントの総合コンサルティング
- 4 営農者、種苗メーカー、農薬メーカー等関係者へのリカレント教育
 - ・農業法人、公設機関、教育機関などへの講師派遣も



<代表機関概要> 株式会社 農研植物病院

■HP：<https://www.naroph.com/>

■所在地：茨城県つくば市観音台2-1-18

■連絡先：上記ホームページからお願いします



NAROPH
農研植物病院

2025年4月1日現在